

防災 **まめ** 知識

その5

問い合わせ先 総務課防災係(内線29)


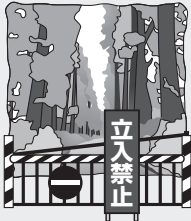

【火山災害に備えて】

浅間山は四季折々に、私たちに雄大な自然を見せてくれます。しかし、現在の火山活動は落ち着いていますが、いつ災害をもたらす噴火が起こるか分かりません。非常持出品などをそろえ、日ごろから心構えをしておきましょう。

【噴火警戒レベルとは】

気象庁から予報・警報により発表され、5段階で表示されます。噴火に伴い直接人命に危険が及ぶ範囲などを想定し、住民の皆さまにとっていただく対応の段階を示しています。

浅間山噴火警戒レベル

予報、警報の略称	対象範囲	レベル	キーワード	火山活動の状況	注意事項
噴火警報	居住地域 	5	避難	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態。	町、消防、警察の指示に従い、避難しましょう。
		4	避難準備	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される。(可能性が高まっている)	町、消防、警察の指示に従い、いつでも避難できる準備をしましょう。避難に時間がかかる方は避難しましょう。
火口周辺警報	火口から居住地域付近まで 	3	入山規制	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	火口から4キロメートル以内に入ってははいけません。噴火が切迫している場合や、4キロメートルより遠くに噴石が飛ぶような噴火が発生した場合は、一時的に道路を規制することがあります。
	火口周辺	2	火口周辺規制	火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	火口から4キロメートル以内に入ってははいけません。
噴火予報	火口内など 	1	平常	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出などが見られる。	火口から500メートル以内に入ってははいけません。

(参考資料:浅間山火山防災マップ)

※融雪型火山泥流は、この限りではありません。
融雪型火山泥流については、次号でご紹介します。

危険物の 取り扱いについて



ガソリン等による危険物の事故が発生しています。事故の発生原因は人的要因がほとんどです。危険物は取り扱い方法を誤ると大事故につながります。特にガソリンは -40°C と非常に低い温度でも引火します。また、ガソリン蒸気は空気よりも重く、床面に沿って広範囲に拡大するため離れた場所でも引火するなど大変危険なものです。農機具などへの給油、セルフ式のガソリンスタンドなどは、正しく取り扱い事故を起こさないようにしましょう。

1 セルフ給油は安全に利用しましょう。

- ★白線など決められた場所に停車し、必ずエンジンを停止。
- ★静電気を除去。
- ★ノズルは最後までしっかり差し込む。
- ★給油が停止したら継ぎ足し給油はしない。
- ※携行缶へのガソリンの給油は従業員しかできません。



2 携行容器は正しく使用しましょう。

- ★携行容器は、危険物の種類に応じた材質や容積が決められています。容器の表示を確認し、専用の容器を用意しましょう。
- ★ガソリンは静電気の蓄積しやすい液体です、専用の金属製の携行缶を使用し、直接地面に置くなど静電気の蓄積を防ぎましょう。
- ★容器からガソリン蒸気が流出しないようにふたをしっかりと閉めましょう。
- ★開口前の圧力調整弁の操作等、取扱説明書に書かれた操作方法に従い、こぼれ・あふれの無いよう細心の注意を払いましょう。

秋季全国火災予防運動

11月9日から15日まで「秋季全国火災予防運動」が実施されます。

”消すまでは 心の警報 ONのまま”

これからの季節は火を扱う機会が増えますが、火災には十分注意しましょう。

ご不明な点は消防署までお気軽にお問い合わせください。
御代田消防署 (32)0119